


報道関係各位

記者会見のご案内

2011年6月吉日

 日本慢性腎臓病対策協議会
J-CKDI
〒113-0033
東京都文京区本郷3-28-8 日内会館2F
日本慢性腎臓病対策協議会事務局
(日本腎臓学会内) <http://j-ckdi.jp/>

透析患者数減少予測に関する記者会見のお知らせ

～2011年7月1日(金)18:30～19:30 会場:厚生労働記者会 会見室～

日本慢性腎臓病対策協議会(事務局:東京都文京区、理事長:榎野博史、以下 J-CKDI)は、来る2011年7月1日(金)に透析患者数減少予測に関する記者会見を行います。

慢性腎臓病が進行すると透析を要する末期腎不全となります。わが国の透析患者数は増加の一途をたどっており、その対策が喫緊の課題です。そこで日本腎臓学会、日本透析医学会、日本小児腎臓病学会という日本を代表する腎臓病関連学会が協力して、日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)が2006年6月に設立され、透析の予備軍である慢性腎臓病対策を広く一般市民に啓発する活動を精力的に続けております。<http://j-ckdi.jp/>

平成23年6月18日に日本透析医学会学術集会において2010年末の慢性透析患者数、2010年の新規透析導入患者数とその原疾患などの速報ならびに「今後の慢性透析患者数の動向」が報告されました。それによりますと日本の新規透析患者数は減少傾向となり、導入原疾患第一位の糖尿病性腎症による新規透析導入患者数は統計以来初めて減少しております。今後糖尿病性腎症による透析導入患者数は着実に減少し、近い将来において全透析患者数も減少に転じることが予想されております。

透析患者数の伸びが明らかに抑制され、とくに糖尿病腎症の対策に光明が見出せておりますことは、厚生労働省、日本医師会、糖尿病対策推進会議、J-CKDI や腎臓関係学会など 政府や多くの学会・団体が協力した成果であると確信しております。

そこで、この度 日本腎臓学会、日本透析医学会、日本小児腎臓病学会の各理事長などが一堂に会し、これまでの活動の成果及び今後の活動について発表させて頂きたく、以下のとおり記者会見を行います。

ご多用の折とは存じますが、是非ご出席賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

-記-

1. 日時: 2011年7月1日(金)18:30～19:30 (受付開始 18:15)
2. 会場: 厚生労働記者会 会見室 (厚生労働省9階)
3. 発表者: 日本腎臓学会 理事長 榎野 博史(J-CKDI 理事長)
日本透析医学会 理事長 秋澤 忠男
日本小児腎臓病学会 理事長 本田 雅敬
4. 当日の予定: ①新規透析患者数の減少について
②糖尿病性腎症による新規導入の減少について
③今後の透析患者数の減少予想
④J-CKDIの地方での取り組み
⑤小児CKD対策(疫学調査、推算式)のご紹介
⑥厚生労働省戦略的アウトカム研究「From-J」の継続について
5. 主催: 日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)

以上